

こんにちわ

フィスチュラジャパンの中山道子です。急に寒くなりましたね。私は、この一週間、PCがダウンし、往生していました。結局、サポータージュを決め込み、楽しく過ごしてしまいました、

:::初めてこの配信を受けられる方へ:::

フィスチュラジャパンは、代表中山道子が2005年春に設立した非営利団体で、エチオピアにあるアジスアベバフィスチュラホスピタルという100%治療費無料の非営利病院を支援することを主たる目的としております。フィスチュラホスピタルで治療をするのは、「フィスチュラ」(産科フィスチュラ)のみ。出産時の難産で、女性が、子供を失い、しかも、陣痛から膀胱や直腸に傷を受け、その後、糞尿コントロールを失うというとてもかわいそうな症状です。フィスチュラは、数百ドルの手術で直ります。ぜひ、これを機会に、フィスチュラについて知ってください。中山がお名刺交換した方々に、配信しています。解除は、

<http://www.fistula-japan.org>

下方「フィスチュラジャパン」便利「登録解除画面」からおできになります。

.....

さて、しばらくご無沙汰しておりますが、たくさん、ご報告があります！

パンフレットが下からダウンロードできます

当団体のパンフレットを白黒コピーですが、配布開始しております。賛同し、配布にご協力いただいている皆様には、心より御礼申し上げます。下のURLから、PDFファイル形式でダウンロードできるようになっておりますので、よろしければ、A4用紙に裏表プリントアウトしていただければ、3つ折のパンフレットになるようになっております。ファックス番号に間違いがあったのでそれを消したのと、みずほの銀行口座は、振込み者様の住所等が分からなくなるので、これもパンフレットからは削除することにしました。アドビのイラストレータ等がなく、削除が汚くてお恥ずかしいですが、次回直せるときまで、ご笑納ください。

<http://www.fistula-japan.org/AboutUs.htm>

からのリンクで

<http://www.fistula-japan.org/pamph2005.pdf>

にて

また、実物の配布にご協力していただける方は、

m-nakayama@fistula-japan.org までご連絡ください。300部で一部40円弱(送料別)で印刷しました。もっとよい方法をご存知の方がおいででしたらぜひ教えてください。

現地からもらったビデオ

現地エチオピアに居住されている本団体リエゾン代表國枝さんがもってきたビデオが、現地方式だったのを、NPO法人アワーブラネット様にて方式変換をしてもらい、通常VHSで試写することができました。ドキュメンタリー風寸劇で、アジスアベバフィスチュラホスピタルの状況を一人の少女の生活を例に取りながら、展開していて、画像は悪く、また素人くさい仕上がりですが、とても感動的です。現地語でのやりとり、英語のスーパーがついています。画像が悪いのは仕方がないとしても、これに日本語の字幕をつけないと、皆さんに見てもらうことはできません。しかし、大変、高額になってしまう、というので、立ち上がり初年度の団体とし

ては大胆でしたが、助成金に一つ応募してみました。その際には、数名の方に、推薦を書いていただきました。お忙しい中、ありがとうございました。

しかし、通常、助成金というのは、ちゃんと2年くらい活動している実績がある団体にしか、難しいらしく、確かに最近、NPO法人格を使っての街頭詐欺募金活動などもあるといった話も聞きますから、実績がない当団体、これは取れなくても、仕方ないかも、。だけど、自費で何十万では、。というので、ネットサーチの威力で、DVD化や字幕スーパーが格安のショップを発見しました。英語から日本語への字幕つけの場合も、キューとなる英語と、それに対応する日本語を両方、秒数ごとに用意すれば、日本語の通常の字幕付けと同額で、大変安く上がるようです(DVDへの変換あわせ、多分、5万くらい?)。

おもいでスタジオ

<http://omoide.plala.jp/>

ですが、無精者の私のこと、ビデオを見直しながら、英語を書き取り、適当な日本語をつけていく、その作業が、面倒そうで、まだまったく開始できておりません、。(む、無責任、、、)どなたか、手伝ってくださるという場合は、m-nakayama@fistula-japan.org へご連絡お待ちします。前号で紹介した、ニジェールのフィスチュラ事情をフィルムにおさめたガバナースフィルムのほうも、同様にやってみたいと思っております。

また、現地の病院の様子を日本テレビ「今日の出来事」で放映された折のビデオを、FGM 廃絶を支援する女たちの会の伊藤さんに、送っていただきました。当時、会のみなさんが、アジスアベバフィスチュラホスピタルに來訪された折の映像だということです。ここに、お礼を申し上げます。

ちなみに、FGM 廃絶を支援する女たちの会では、11月2日水曜日午後2時から5時に、ユニセフハウス 橋本正記念ホールで、シンポジウムを開かれます。詳細は、こちらから。

<http://www.jca.apc.org/waaf/sinnpo.pdf>

夜に懇親会があるそうですので、日中お忙しい方も、ぜひ、ご検討ください。

<http://www.jca.apc.org/waaf/oshirase.html>

第一回資料集を発行しております

前回もご紹介しましたが、会員向け年四回発行予定の資料集というか、機関紙の初回分を発行し、配布し始めております。ネット会員様は、ネット会員ログインURLからのご案内によるPDFファイル形式配布で、経費削減にご協力いただいております。資料集だけのお求めは、下のURLからおできになります。

http://cart03.lolipop.jp/LA06227206/?mode=CATE&c_id=CA00100061731

現在、

学生、ネット会員年会費 8000円 (連絡等はネット。年4回の当団体資料はPDFファイル)

一般会員 12000円 (年4回、当団体資料集お届け)

法人会員 30000円 (年4回、当団体資料3部ずつ、

メルマガやHP資料集広告枠ご提供)

の3種の会員枠をご案内させていただいております。ぜひ、ご入会をよろしくお願ひします。

ご入会はこちらから

http://cart03.lolipop.jp/LA06227206/?mode=CATE&c_id=CA00100052063

もちろん、ご寄付だけのお申し込みも承っております。
フィスチュラジャパン 郵便振替口座 00150-9-630504
http://cart03.lolipop.jp/LA06227206/?mode=CATE&c_id=CA00100050435

ちなみに、この資料集は、コニカミルタビジネスソリューションズ社のPDFファイル出力方式を利用させていただくことで、カラーも含め、格安のオンデマンドプリントが実現できました。別の非営利団体に紹介したところ、ちょうど数百部の資料集を出したいので、ということで、大変喜んでおられました。同社に感謝申し上げます。10冊単位で、数百円で、最大80ページの冊子を作成する必要がある方は、要チェックです。

<http://www.ebook-print.com/ebook/>

洋服用の布地を寄付しました

現地は、この期間、雨季でしたが、アジスアベバフィスチュラホスピタルとその長期療養施設でデスタメンダー村に現地リエゾン國枝美佳さんがこの期間合計3回行ってくださったおかげで、ある程度、状況も分かり、予算が少なくても、可能な意義のある寄付とは?と考えた結果、現地女性患者さんたちの洋服を仕立てるための布地を送ろう」と決めました。

これは、患者さんたちが病院に来院するときは、大体着の身着のままなところ、治療が終わり、糞尿もれがなくなった段階で、汚れのない、新しいドレスを支給してあげる、そういうニーズがあるわけですが、新事務局長のマーク・ベネット氏のほうからの情報で、こういうことは、これだけのコストがかかるよ、ということを教えてもらったのです。

ちなみに、その一覧表を見ると

500円で、女性が入院中に着用するガウンが買える。
1000円で、帰宅するときの新しい洋服が支給できる。
2000円で、遠方患者帰宅時の旅費(交通費や宿泊費)が大体捻出できる。
3000円で、入院患者一人の1週間の食費になる。
5000円で、デスタメンダー村(長期療養施設)に一人一ヶ月滞在させてあげられる。
10,000円で、看護師と看護助手の一月分の給料がまかなえる。現在、看護師8名、看護助手50名。
看護助手は、患者出身の女性をトレーニングして採用してあげた場合も多いようです。
50,000円で、一人の患者のフィスチュラ治療を、旅費支給や滞在費、物理療法や識字クラスなどすべて含めて、まかなうことができる。

となっていました。

そこで、「待てよ?」と思ったのが、洋服代。他のものは、日本のほうがもちろん高いですが、服飾業界万年不況の日本では、1000円あれば洋服、買えることがありますよね。ただ、もちろん、ファッション的に、若い女性向けのセクシーなショートドレスなど、モダンなものでは向こうにそくいません。デザイン的に言うと、ノースリーブでいいので、コットンなど洗いやすい素材のカジュアルなデザインのカミソリや、ロングで、ウエストなども絞っていないような広がるラインのものが、一番無難なようなのです。いわば、ハワイアンドレスや、一昔前に「アップパパー」などと呼んでいた夏

の部屋着のようなイメージで、、それで、向こうにミンが数台分あり縫製も可能だということを知り、それなら、洋服生地なら!」と思ったのです。

國枝さんのサジェスチョンで、まだ、残暑の8月27日に、早速西日暮里の繊維街に。

各店大変安いお品ばかりでしたが、結局、トマトというお店で、1メートル100円(税込み)の生地を200メートル買わせていただきました。梱包についても、安い買い物なのに便宜を図ってください、ありがとうございました。考えることはみんな同じ? 海外の方も多数おいででした。

トマトのHPはこちら

<http://www.nippori-tomato.com/>

素敵な生地が、たくさんあり、裁縫のできない不器用な自分がちょっとつまらなく感じました、、

向こうの女性のドレスは、ひざ下がいいということですので、大体、2メートル弱で、1人前。今回、コットン生地200メートルで、200人強のドレスが作れる予定です。但し、大変かさばるので、送料も安い船便で、現地病院広報担当のルース・ケネディーさんからは、同じ生地であれば、制服も作れるし、といったご意向を聞いていたので、ひまわりプリントの黒地と赤地バージョンをそれぞれ100ずつ、買ってみました。國枝さんからは、汚れが目立ちにくい暗めの生地を、というアドバイスがあったのですが、単に黒や紺ではつまらないので、、華やかな柄がひとり、ちょっとお気に入りです。

同日配達手配し、病院の指定どおり、大体7キロのサイズ毎に合計5個の荷物を無事、西日暮里の郵便局から配達手配することができました。アジスアベバフィスチュラホスピタルへの寄付ということで納品書や寄付証明書のようなものを作り、別送。こうすると、便宜を図ってもらえて関税を払わなくて良いそうなのです。

残念ながら、エチオピアは、郵便局との情報未接続国だということで、せっかく配達番号があるのに、郵便局のHPからは、追跡できませんが、大体、2、3ヶ月かかってしまうようですので、気長に待つことにします。もう10月ですから、一ヶ月半近く、経っています。

今回の会計

生地200メートル	20,000
送料4900円×5	24,500
合計	44,500

一見、送料のほうが割高なのもつらい感じがするのですが、計算してみると、ドレス1着分、大体445円、つまり、4ドル強相当の原価となり、病院で自前でドレスを作ってもらえるなら、現地で既製品を買うより安くなります。現金を1000円送って、ドレス一枚しか買えないのであれば、当方で445円払ってやはり同様にドレス一枚が作れるほうが、という考え方。こういう物資支援なら、費用対効果が高いのではないかと考えて、まずは行動。現地に向こうに着いたら、また、ルースさんから連絡をいただけたらと思いますので、喜んでいただけたのか、支援方法について、今後、こうした考え方でよいのか、またご報告します。

掲載されました!

号外でご案内しましたように、前回のメルマガご報告のように取材をしていただきました読売新聞、朝日新聞が両方とも、当団体のことを、掲載してくれました。

1 読売新聞9月5日月曜日朝刊29ページくらし面左上
「難産で失禁 産科フィスチュラ」 途上国の女性救おう 東京の団体、
支援訴え」

編集局生活情報部月野美帆子記者

インターネットでは、こちらから

<http://tinyurl.com/8qqll>

2 朝日新聞9月24日土曜日夕刊4ページ

「現代のマザー テレサ」助けたい エチオピアで半世紀、女性の病を治
療 都内に支援団体」

社会部平山亜理記者

3 『こまえボランティア情報』第156号(2005年10月1日号)5ページ

こまえボランティアセンターの大塚様のご厚意で、当団体のことを紹介
していただきました。下から、PDF版がご覧いただけます。

<http://www4.ocv.ne.jp/shakyo/vc/pdf/156.pdf>

記者以外の数々の方々に、ご協力を頂いて今回の露出を頂きました。各
紙とも、大変好意的によちよち歩きの当団体のことをお取り上げ下さり
大変感激しました。今回、特に一流両紙のお取り上げにしまして、多
数のご反響を頂きました。

実は、読売新聞ご掲載の折は、本業のイント出張中ということもあり HP
のアクセスなどを記録することができませんでしたが、朝日新聞様ご掲載
にあたっては、特にHPURLをご掲載いただいたことが効いたのか、多数
の方々に、当団体のことを知っていただくことができました。

掲載前日 9月23日

新聞掲載日 9月24日 リクエスト総数 256件
25日 リクエスト総数 227件
26日 リクエスト総数 69件
27日 リクエスト総数 57件

リクエスト総数というのは、どうやら、全来訪者が見た全ページという意
味なので、それだけの人数がおいでになったということではなく、例えば1
人平均3ページをごらんになったと想定すると、実際のご来訪は、その3
分の1となるかと思えます。この週、大体、アクセスカウンター(こちらは、
同じPCからの複数アクセスは1人と数える)は、200人ほど、増えたよう
です。10月8日、この記事を書いている段階で、5月20日にアクセスカウ
ンターを設置してからの総来訪者数は、785人です。

さて、ということで、8月までは、ヤフオクでのオークションなど多少はして
みても、45,500円の支援をするのがようやくだったフィスチュラジャパ
ンが、この期間、多数の方のお目に触れることができたことで、多額のご
寄付を頂くことができました。(後述)

代表中山の投稿が記事に

一 JANJAN掲載

インターネットの硬派市民新聞JANJANは、実は登録すると誰でも記事
が投稿でき、編集部の審査を経て公開される仕組み。フィスチュラジャ
パンについて、簡単な投稿をしてみました。すぐ掲載され、逆にびっくり!
しかし、この記事が掲載された直後の数日間、ここから、HPにアクセス
がありましたので、大変ありがたい反響を簡単に得ることができました。

今後も、フィスチュラジャパンの活動でなくても、定期的に、ポスティングし
ていきたいと思っています。皆さんも、よかったら、試してみてください。

産科フィスチュラってなに? 東京に支援団体誕生

<http://tinyurl.com/cn34k>

二)日本助産師協会機関誌「助産士」平成18年2月号掲載依頼を受け
ました

広報活動の一環として、あるいは、ご関心を持っていただけるかと思っ
てこちらから連絡した助産士協会のご厚意で、フィスチュラ問題につき
「海外情報」というテーマでの執筆依頼を受けることができました。お電
話やメールでご相談に乗っていただいた江角様や島田様に、御礼を申し
上げます。よい原稿を仕上げたいと念じております。また、掲載写真につ
いては、例によって、國枝さん撮影のものを利用させていただく予定で
す。

この他にも、積極的に、当団体の記事を投稿させていただける場合があ
れば、お願いしたいと思います。「こういう情報誌があるよ」といったサ
ジェションや掲載依頼などを歓迎申し上げます。特に来年2月には、理事
会が現地であるということで、向こうに行きますので、よい記事を投稿
できると思います。連絡先 m-nakayama@fistula-japan.org へどうぞ。

ご寄付多数御礼申し上げます- 会計簡易報告と、早速あちらに近々
送金

新聞紙に掲載されたことがきっかけで、多数の方々に、お声を寄せてい
ただくこととなりました。その結果、ヤフオク中心の不用品販売収益は除
く、会費や寄付の累計総額が、10月始めのこの段階で、30万近くとなっ
ております。

6月1日から9月30日までの簡単な入金明細をご案内すると

寄付 会費総額	272525円
ヤフオク他不用品販売収益	71465円(但しマイナス送料 5190円)
3つの口座残高総額 - みずほ	85610円
ばるる	78530円
郵便振替	127900円
中山 國枝経費現金負担分	35479円(会費分除く)
現地寄付(布地)	44500円

といった感じになっています。明細は、本業でお世話になっている佐伯税
務事務所のソフトウエア、「一番かんたん会計」を使用し、「かんたん
」に計上できました。フィスチュラジャパンは、それほど大掛かりな税務
がないので、税理士先生にはお世話にならず、初年度の申告を済ませる
つもりですが、それにあたり、帳簿付けが大変「かんたん」になる同社ソ
フトに大変感謝しております。佐伯事務所に世話になることにより、本
業の(有)マリポーサは、なんと、税務経費が、月額が3150円、年度末も
31500円と、通常会社さんの3分の1くらいになっております。周りの
経営者からは、信じられないという声が届きますが、お付き合いも、今度
で3年目になります。フィスチュラジャパンはそれすら支払わず、ノウハウに
おんぶにだっこですが、会社関係の方は、同社サービス、検討の価値大
です!

佐伯税務事務所

<http://www.itsaeki.jp>

下のURLで、かんたん会計で表示された総勘定元帳をスクリーンキャ
プチャーでPDFファイル化し、アップしておりますので、ご検討ください。

<http://www.fistula-japan.org/books.htm>

ということで、本題の、寄付。これだけの現金を短期に集めさせていただ
けたことに、各紙様に再度御礼を申し上げますとともに、44500円の現
物寄付がようやくかな、と思っていた8月段階と事情が変わりました
ので、ぜひ、できるだけ早く、ご寄付いただいた現金を、向こうにお送りし

たいということになりました。

現在、(有)マリポーサに事務所を置き、通信費や一部送料負担など 各種の便宜を図っておりますほか、現金の経費支出は主として中山や國枝が負担しております。現在、多くの方々は、インターネット経由で、メールやPDFファイルなどにおいて、連絡をさせていただき、勝手ながら通信費についても、たいは節約させていただいており、今後、このような状況がずっと続けられるかは分かりませんが、ヤフオク収益などを多少は当て込むほか、多少の経費は引き続き自己負担をすることで、頂いた現金寄付は、できるだけ100%、現地に送ることができたら、と考えております。今回は、今までの現金寄付/会費総額272525円-44500円(8月送付生地分)-228025円の送金(約2000ドル)を予定しておりますので、また、送金が完了しましたら、ご報告します。

現地リエゾンの國枝美佳さんが、日本に一時帰国されています

10月16日まで一時帰国中です。活動をはじめてからののはじめての帰国だったので、はじめて中山さんと顔を合わせました。メールだと難しいコミュニケーション対面だとコミュニケーション少し楽にできますね。事務所も見る事ができました。

エチオピアの状況について話したり、活動に関しての打ち合わせをしたり、寄付していただいた新品の女性ものブラウスやスカートを現地の事情に合わせて選定したりしました。今度エチオピアに帰るときに7キロほどの洋服を持ち帰ります。持ち帰れない分については知人やヤフーオークションで売ってもらったりして、売り上げを会の寄付にしたいと思います。中山さんから通帳を見せられ、実際のお金の出入りも確認しました。会紹介のリーフレットもいくつかもらい、10月はじめの週末に日比谷公園で開催されたグローバルフェスタで配布したり、エチオピア大使館参事官などにもフィスチュラジャバの活動を紹介させていただきました。またエチオピア大使館でもリーフレットを置いてもらうようお願いしました。いまさらですが、フィスチュラ患者のための募金箱も置いてもらうようお願いすればよかったかもしれませんね。

さて、現地の病院が作成したPAL式ビデオを以前事務所に送っていたのですが、中山さんがVHSに変換してくれました。英日翻訳、テロップ入れ作業、ビデオからDVD焼付け作業をボランティアでやってくたさる方あるいは会社いらいしませんでしょうか。テロップやDVD焼付け格安で外注したとしても5万円はするので、会の貴重な財源の節約に(そしてより多くの寄付が直接病院と患者に届くよう)、好きなこと、得意なことでは是非貢献・ご協力ください!

会員紹介コーナー

新聞を見て会員になってくださった中村有希さんのHPを紹介します。
<http://nakamura.whitesnow.jp/>

中村さんは、ミステリ書籍翻訳がご職業で、すでに、多数の話題作を日本に送り出しておられます。特に、サラ・ウオーターズの『薊の城』は、イギリスではダガー賞受賞、日本でも、宝島 2005年このミステリがすごい」で1位に輝いたとい話題作です。イギリスのこぼれ話や、翻訳家になりたい人のためのアドバイスなども多数。メルマガ、「アンティークレシピと食い意地日記」は、下からご登録いただけます。

<http://nakamura.whitesnow.jp/melmaga.html>

猫たちの写真ブログ、楽しみにしてますよ~

今後、会員様のご活動で、ご紹介できるものがあれば、ご連絡ください。m-nakayama@fistula-japan.org

今回も、長くなりました。まだまだ、書くことはいっぱいですが、そろそろ、次回のお楽しみにしたいと思います。それでは、ごきげんよう

201-0014

東京都狛江市東和泉1-23-13

有限会社マリポーサ気付

担当:中山道子

メール:m-nakayama@fistula-japan.org

HP:<http://www.fistula-japan.org>

電話03-4500-8546(有限会社マリポーサ代表)

ファックス03-4500-5246

エチオピアのアジスアベバフィスチュラホスピタルを支援する、非営利の任意団体です。